

目標達成計画

作成日：平成 22年 6月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3)	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しているものの、メンバーが少人数で固定化している。また、議題もマンネリ化している他、入居者1人1人の細かな生活状況の報告が主となっている。	運営推進会議には多方面からの参加を促し、充実した会議内容にできる。	参加メンバーを固定化せず、議題に応じて多方面、多職種からからの参加を促し、助言や提案を参考に運営に活かせるようにする。また、プライバシー保護の為、個々の細かな状況報告はせず、入退居状況や特記事項の報告程度にする。	6ヶ月
2	2-(2)	近隣で開催される地域行事へ参加したり、幼稚園児の訪問も受け入れているものの、自治会に未加入。地域住民との直接的な交流の機会が少なく、グループホームの役割等を浸透できていない。	地域住民に対し、グループホームの役割等を理解して頂き、互いに助け合える関係を築くことができる。	自治会への加入や地域住民に対して、ホーム行事等への参加を働きかける。また、地域行事に進んで参加し、顔見知りの関係を築けるようにする。	6ヶ月
3	35-(13)	災害対策として、マニュアルの作成や年2回の避難訓練を実施しているものの、訓練は消防署員と職員、入居者のみの参加である。職員が少なくなる夜間等は、避難誘導に限界がある為、地域住民等の協力体制を構築していく必要がある。	災害時の協力体制が構築できる。	地域住民や消防団員等にグループホームの内部や入居者状況を知って頂く機会として、避難訓練への参加を促したり、相互の連絡先の把握を行う。	6ヶ月
4	10-(6)	個々の家族とは、来所時等に意見や要望の確認に努めており、コミュニケーションも良好に図れているものの、家族会など家族同士が顔を合わせ、意見等の交換を交わす機会が持っていない。	家族や家族同士が自由に意見や要望等を表出する機会が持てる。	家族会の発足や運営推進会議への家族の参加を促していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。